いきいき鯱っ子

附属小 Facebook

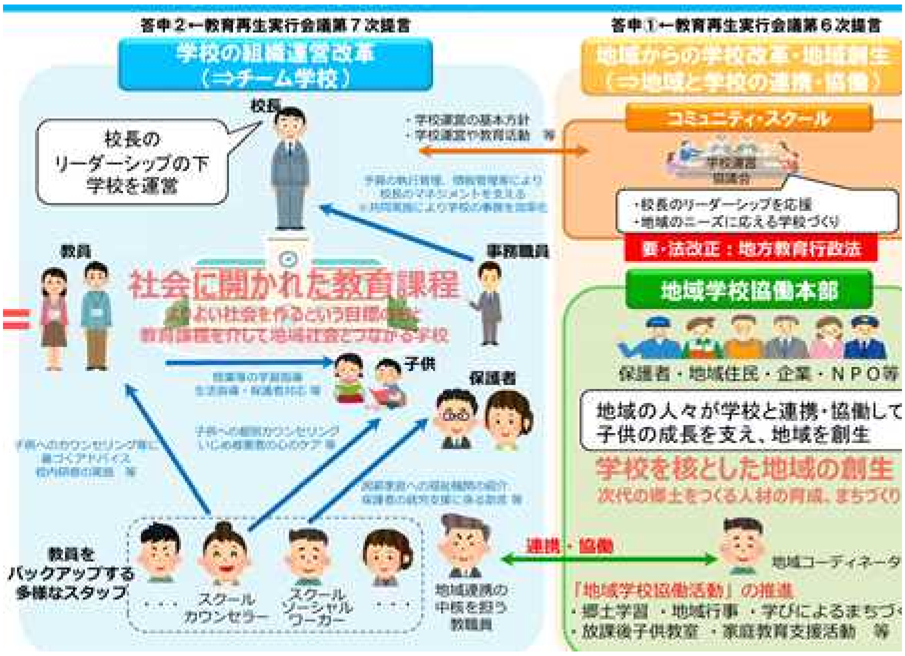
最長兄姉保護者　様　　附属小学校便り９月号　　児童：623名

☆教育目標：リーダー性を備えた「生きる力」の育成

☆９月の生活目標：「落ち着いた生活」をしよう。

平成２８年９月１５日（木）　執筆者：校長　岩永　　悟

○新しい教育の動向　一年半後の平成 30 年 4 月には、小学校の学習指導要領が効力を発揮し、教育の内容が変わります。例えば道徳は教科となります。敗戦以降今日まで、修身や教育勅語が一部から批判され、道徳には様々な見方がありました。修身や教育勅語等もよく読めば素晴らしいことが書いてあります。道徳は教科でなかったために教室によってはきちんと授業されていないことがありました。それが教科化によって、内容も整理され、授業時数も全ての学年で、年間 35 時間（週 1 時間）確保されます。強制力を持つものとなります。外国語の授業も強化されます。外国語というけれど実質は英語です。現行では 5･6 年に 35 時間実施されていますが、改定案では 70 時間と倍になります。また 3･4 年生にも 35 時間確保される予定です。日本を愛し、道徳心を以て、グローバルな社会で活躍できる大人にすることが求められています。不易と流行という言葉があります。教育においては大部分が変わりません。長年残っている教育内容は歴史の批判を乗り越え、錬磨されています。代表格は 3R's ＝読み書き算盤です。重要だから減ることなくちゃんと残っています。不易に立脚しつつ、変化にも着眼しておく必要があります。それが道徳と英語、AI 等のコンピュータリテラシーになります。馳プラン（写真）なるものが文部科学省より出されています。プロジェクトの中核を担っている合田哲雄氏（文科省教育課程課長）の構想を踏まえると、「未来を予測する最善の方法は、自らそれを創り出すことである」（アラン・ケイ）との指摘を待つまでもなく、子供達が変化を生み出す主体者として活躍できる能力が持てるように育てるのが親や教師の務めのようです。



これからの子供達には「現在の社会で必要な知識の習得にとどまるのではなく、新しい社会構造を創り出す力が求められている。何を知っているか（知識・技能）、どう使うか（思考力・判断力・表現力）、どう社会と関わり人生を生きるか（人間力）」が、問われることになるようです。学校が社会と直結する教育がすぐそこにあります。

○教育実習

公立学校は知育、徳育、体育のバランスのとれた教育を施し、文科省が求める「生きる力」の育成に取り組んでいます。附属小はこれに加えて、先進的な教育研究及びその公開と教育学部生・院生の教育実習を受け入れる使命があります。7 月 26 日に行った授業力向上研修会、11 月 12 日に行う小中合同研究発表会が教育研究の公開事業です。一方、教育実習は、教員になろうとする学生が大学の勉強の総決算として取り組みます。必修科目であり、一大イベントです。大学の勉強は分かるレベルであるのに対して、附属小での教育実習では「できるレベル」が求められます。気力と体力、知識を総動員して挑みます。附属の教員は教育実習生に対して、教師としての心構えや教え方の基本を手ほどきし、同時に子どもたちの勉強が滞ることがないように手配します。9 月 1 日(木)より教育実習が始まっていますが、15 日現在、3 週目です。教育実習生の研究授業は半分が終わりました。指導教師から指示された授業を実施するために、内容をしっかりと勉強し、授業の計画を立てます。それを学習指導案といいます。A４版の用紙に４枚、ワープロで書きます。その計画に基づいて授業します。例えば、黒板に何を書くか。どんなキーワードを黒板のどの位置に、どの大きさで書くか。どの色のチョークを使って書くか。いつ書くか。そのときどのような解説を加えるか。どんな問いを発するか。そういうことを予め決めておくのが計画であり、計画に従って行うのが授業です。子どもを帰してから、授業の実際を振り返り、授業の是非を検討する研究会も行います。

○四附属育友会第2回役員会

9 月 7 日(水)、附属学校の教育が充実するように、四附属育友会の第 2 回役員会が本校校長室で開催されました。今年度は小学校が主管校になっています。6 月 30 日に開催された親睦球技大会バレーボールは保体委員長の大坪さんを中心に進めて頂きました。大会運営を振り返って、成果と課題等の報告がありました。来る 11 月 25 日(金)には教育講演会が予定されています。講師は、「はなまる学習会」の高濱正伸先生です。たいへん人気がある講師で、あちこちの講演会に引っ張りだこです。本部役員の方々の人脈とご努力により念願の講演会が実現しました。「メシが食える大人に」どう育てるか。学力を育てるには、学力以外の部分にも目を向ける。母親だからできる教育がある。話は目から鱗の内容となること請け合いです。武雄市は斬新な教育で新聞やテレビのニュースに取り上げられていますが、官民一体型小学校の運営にもはなまる学習会が関わっています。21 世紀を生き抜く力をどう育むか。青空教室、モジュール授業、プログラミング教育等々、これらの魅力に惹かれて武雄市に移住しているご家庭が複数あると聞きました。その中心的存在である高濱正伸先生の講演会、後日案内状が各ご家庭に届くと思います。ぜひ都合をつけて頂き、我が子の教育に役立ててください。

9月の主な行事

1(木)教育実習開始～ 28、実力テスト
2(金)給食開始、 5(月)夏季作品展
8(木)早朝学習会 6 年(以後、毎木曜日)
13(火)しゃちっこ集会
19(月)敬老の日、22(木)秋分の日
28(水)教育実習終了・辞任式
30(金)前期終業式、弁当の日

10月の主な行事

1(土)佐賀大学開学記念日
3(月)後期始業式、全校朝会、給食なし
7(金)授業参観、学級育友会、
情報モラル講演会
10(月)体育の日、13(木)6 年修学旅行～ 14、
14(金)バス遠足、20(木)5 年宿泊訓練～ 21、
24(月)冬服移行期間、25(火)しゃちっこ集会